

平成 21 年度第 4 回 埼玉支部評議会の概要報告

開 催 日	平成 22 年 1 月 14 日 (木) 10:00～12:00
開 催 場 所	J A 共済埼玉ビル 3 階会議室
出 席 者	新井評議員、磯野評議員、大津評議員、齋藤 (昌) 評議員、齋藤 (勝) 評議員、坂下評議員、鈴木評議員、高橋評議員、田中評議員、野口評議員、八ッ田評議員
議 題	<p>1. 保険料率について</p> <p>2. 現金給付について</p> <p>3. 平成 22 年度事業計画及び予算について</p> <p>4. その他</p>
議 事 概 要 (主な意見等)	<p>1. 保険料率について (主な意見等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国庫補助率 20%への要望を引き続きお願いしたい。</li> <li>・協会けんぽの財政対策として、被用者保険が支出する後期高齢者支援金について「総報酬割」とする案を厚労省が示したが、これは給与水準の高い大企業の健康保険組合に対して、負担を肩代わりさせることを考えての発案であると言わざるを得ない。</li> <li>・協会けんぽの財政対策として、厚労省は平成 21 年度の赤字額を 3 年間で償還していくことを示したが、何故 3 年間という区切りなのか、その理由を伺いたい。 →【回答】単年度収支均衡原則に基づき赤字解消を行うと大幅な保険料の引き上げが避けられない。また、平成 25 年度には新たな高齢者医療制度も始まることで、今後その為の予算の必要な見直しも迫られる。それらを見越しての 3 年間という区切りであろうと思われる。</li> <li>・協会けんぽの最新の「平成 22 年度収支イメージ (医療分)」では、今後 3 年間で 1,500 億円ずつ償還することとしているが、本当に実現は可能なのか。来年度再度赤字にならないか心配である。 →【回答】毎年度 1,500 億円を返していくという中で収支を見込んだ上で、保険料率も決めていく。今後更なる経済情勢の変化が無ければ、償還していけるものと考えている。</li> <li>・経済情勢が悪いまま推移しているとはいえ、これ程までに協会けんぽの収入が減り、保険財政が圧迫しているとは思わなかった。このまま協会けんぽは持ちこたえられるのか、懸念を抱いている。</li> </ul> <p>2. 現金給付について (主な意見等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現金給付の見直しの中で、今回の「傷病手当金・出産手当金の支給額の上下限設定」等の案以外に、「加入者の標準報酬の上下限の見直し」についての案というのは、出て来てはいないのか。 →【回答】現状では出ていない。今回の見直し案の趣旨は、現金給付金の圧縮により料率</li> </ul>

の増額改定を抑えるためであるということでご理解頂きたい。

- ・傷病手当金・出産手当金の支給金額上下限設定を行うのではなく、加入者の所得に応じて支給金額を減額するという方法もある。

#### 議 事 概 要 (主な意見等)

- ・出産手当金については各保険者で保障するのではなく、子育て支援等の一貫でもあるのだから、国の政策として費用負担すべきではないか。傷病手当金についても、セーフティーネットとして国の負担を考えるべきである。
- ・協会けんぽの保険財政が圧迫していることと、それに伴っての傷病手当金・出産手当金の支給額を削減することとは別問題である。制度設計をきちんとして、セーフティーネットの観点からもこれら給付水準というのは維持すべき。
- ・現金給付にメリットを覚え健康保険に加入しているという加入者も多い。保険財政が厳しいとはいえ、健康保険制度を維持するために、現金給付の削減を行うというのでは、加入者は納得しないのではないか。現金給付制度自体を再定義する必要があるのではないか。
- ・政管から協会への変更は、医療制度の市場化であると思う。制度の再設計についての議論も今後行うべき。また、医療保険制度を一本化していくことも必要である。

### 3. 平成 22 年度事業計画及び予算について

#### (主な意見等)

- ・埼玉支部の広報計画では、他ホームページへバナーの掲載を推進していくということであるが、リンクを希望する機関等への対応はどのように考えているのか。  
→【回答】希望される機関等にはリンクを積極的に貼ってもらうよう、推進していきたいと考えている。
- ・健康づくり推進協議会を組織し、生活習慣病対策や健康づくり事業に取り組んでいくという考えはあるのか。  
→【回答】現在検討中である。

### 4. その他

その他連絡事項についての説明。(以下、説明内容)

- ・船員保険制度について
- ・中央社会保険医療協議会等について

#### (主な意見等)

- ・加入者の健康管理という面から考えると、医療提供側(医療機関等)に対しての取り組みとして、「かかりつけ医制度」というのは効果があるのではないかと考える。検討頂きたい。

#### 特 記 事 項

○第 5 回埼玉支部評議会の開催を平成 22 年 2 月頃に予定していることを説明。